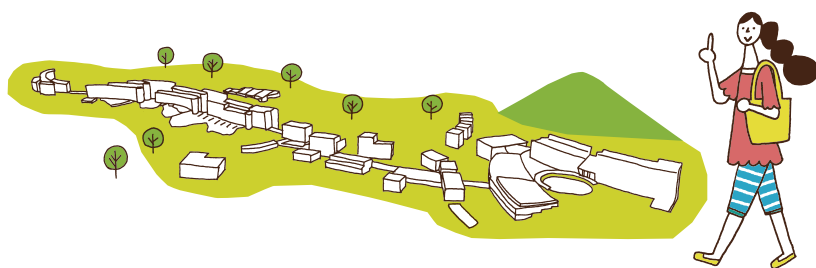




西区





西区のまちづくりの目標

1 区の特徴

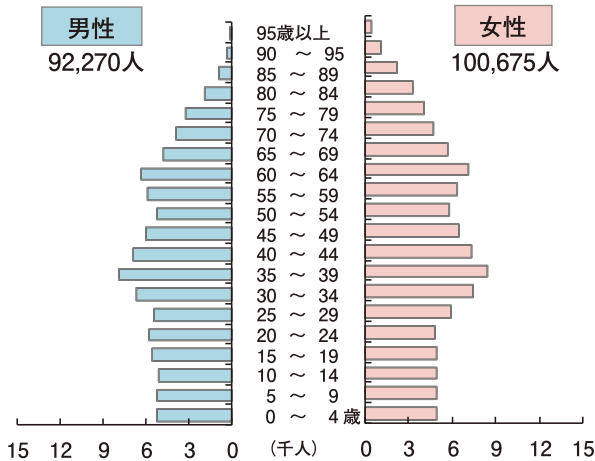
- 土地利用は長垂山を境に異なり、西部地域の山林と農地、東部地域の住宅市街地と大きく二分されています。
- 今津人形芝居や元岡獅子舞などの民俗行事が今日まで多く受け継がれており、無形民俗文化財が豊富です。
- 史跡も数多く残っており、生の松原、今津などの元寇防塁、吉武高木遺跡、大塚古墳・丸隈山古墳をはじめとする今宿古墳群や今山遺跡などが国の史跡に指定されています。
- 九州大学の伊都キャンパスへの移転も進んでおり、学生と地域との交流の輪が広がっています。
- 2011年(平成23年)4月に平成外環通りの全面供用が始まり、地下鉄七隈線橋本駅周辺・JR筑肥線九大学研都市駅周辺のまちづくりも着実に進められ、2012年(平成24年)には福岡都市高速道路の福重～石丸間の接続による環状化やかなたけの里公園がオープンするなど、自然環境と共存し都市機能が充実した活気あふれるまちへ変わろうとしています。

2 現状と課題

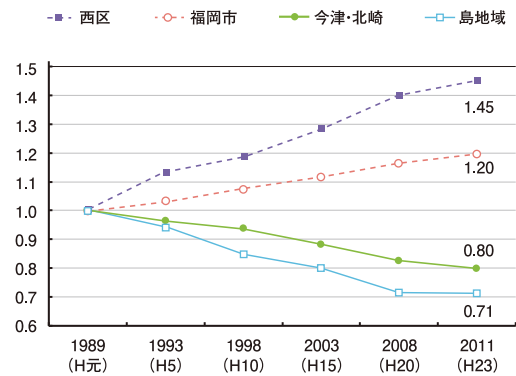
- 豊かな自然をもつ西区では、都市と自然の近接という特性を生かしたまちづくりとともに、リサイクル運動やエコライフの実践などを通し、持続可能な社会を構築していくことが期待されています。
- 市内で最も農地・漁港が多く、生鮮食料品供給地として農漁業が盛んですが、後継者不足による農漁業従事者の減少が続いています。
- 少子高齢化の急速な進展により、家庭、学校、地域が連携した子育て環境づくりや高齢者を地域で支え合う仕組みづくり、高齢者の自己実現の支援など多くの課題が生じています。
- 都市化が進むことで青少年の非行件数の増加が懸念されることから、治安体制の充実・強化を図るとともに、地域、警察、行政などの共働により、社会全体で防犯に取り組む環境づくりが必要になっています。

- 九州大学の移転事業や土地区画整理事業が進み、人口の増加や新たな開発など、地域を取り巻く環境が変化していく中で、市街化調整区域では、人口減少や少子高齢化、公共交通機関の減少などの問題が顕著に生じている地域もあり、地域の格差が現れてきています。
- 地域コミュニティの自律を促すとともに、それらの市民活動を支援し、さまざまな地域課題の解決に向けて市民と行政が共働で取り組むことが必要になっています。
- 九州大学の伊都キャンパスは、2019年度(平成31年度)の移転完了後には、学生・教職員合わせて、約18,700人が通う九州大学最大のキャンパスです。そこで、大学の知識や多彩な人材を地域の人材育成やまちづくりに生かすため、大学と地域との連携・交流をより一層促進する必要があります。

■西區 5歳階級別人口



■平成元年を基準とした登録人口推移 (平成元年を「1.0」とする)



3 まちづくりの目標と取組みの方向性

自然と大学の知を生かし、安全で安心して、生き生きと暮らせるまち・西区
～「自然・市民・大学」の3つの宝を磨きあげる～

自然を生かし、環境にやさしいまち

西区の宝(魅力)である山、川、海、干潟、島など、身近にある多様な「自然」を保全・活用し、水と緑の豊かな都市環境づくりを進めます。

にぎわいと楽しさがあり、地域が支え合う、生き生きと暮らせるまち

地域コミュニティで活躍する温もりのある「市民」が、自らの知恵と発想をもとに責任ある取組みを行う、自律したコミュニティづくりを支援します。また、隣接する糸島市と行政区域を越えた住民同士の交流を深めます。

そして、西区の資源である歴史や伝統を生かした魅力づくりや生活のペースにあわせて楽しみながら行う健康づくりを地域と共に推進し、にぎわいと楽しさのあるまちづくりを進めます。

大学の知と人材を取り込んだ創造性に富むまち

2005年(平成17年)10月の開校以来、順調に整備が進んでいる、九州大学伊都キャンパスの知と人材を西区のまちづくりの宝と位置づけ、「大学」と地域の連携・交流事業を促進し、「大学」の知識と多彩な人材を地域の人材育成やまちづくりに生かします。

子どもから高齢者まで、安全で安心して暮らせるまち

安心して子育てができる環境の充実を図るとともに、高齢者の知識や経験、自己実現意欲などを生かす仕組みづくりや安心して生活できる体制づくりを進めます。

また、日常生活や地域コミュニティの維持などに重要な役割を果たす生活交通については、関係者の協力と連携のもと、確保に努めます。

さらに、自主防災・防犯活動や交通安全など安全・安心に向けての取組みを、市民、警察、行政が一体となって、連携・共働しながら進め、市民生活のルールを守るモラル・マナーのまちをめざします。

西区地図概要



Ⅲ 区のまちづくりの目標 Ⅲ 西区